

お話「弦楽三重奏の魅力をもとく！」ヨーロッパでは早くから弦の響きに宇宙の調和をきき、さまざまな弦楽器の音楽が楽しまれてきました。三つの弦楽器が組み合わされて定着するのは15～16世紀ごろ。豊かでふくよかな響きが音楽シーンを彩っていきます。本コンサートでは、バロックから20世紀にかけての名曲をお聴きいただき、弦楽三重奏の魅力にふれていただきます。

出演者プロフィール

藤本 一子 ふじもと いっこ お話（音楽学）

香川県出身。専門は18世紀後半～19世紀ドイツ/オーストリアとくにR.シューマンを中心とするロマン主義音楽。国立音楽大学大学院修了、ウィーン大学に留学。国立音楽大学音楽研究所ベートーヴェン研究部門所員、同大学・大学院教授、同大学楽器学資料館館長、東京藝術大学ほか講師を経る。R.シューマン《ピアノ五重奏曲》成立史研究により博士（音楽学）。主著『シューマン』（音楽之友社）、共編著『ベートーヴェン全集10巻』（講談社）、監訳書ロックウッド『ベートーヴェン音楽と生涯』（春秋社）ほか。「ロマン派音楽レクチャーコンサート」主宰。関記念財団理事。

吉田 篤 よしだ あつし ヴイオラ

山口県防府市出身。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院室内楽科ヴィオラ専攻修了。数多くの国内オーケストラにおいて客演首席奏者を務める。現在、東京藝術大学管弦楽研究部及び室内楽科講師。藝大フィルハーモニア管弦楽団首席ヴィオラ奏者。東京シンフォニエッタ、アーニマ四重奏団メンバー。またタンゴヴァイオリン奏者として小松真知子&タンゴクリスタル、京谷弘司トリオ等、国内主要タンゴバンドで活躍。アルゼンチン・ブエノスアイレスに於いても公演、レコーディングを行う。

山本 美樹子 やまもと みきこ ヴァイオリン

兵庫県立西宮高等学校を経て東京藝術大学卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院弦楽科修士課程および室内楽科後期博士課程修了（博士号取得）。弦楽四重奏では松尾学術振興財団より奨学金を授与され、Quartett Humoreskeとしてリゾナーレ室内楽セミナーにて最優秀賞を受賞。東京藝術大学とウィーン音楽演劇大学の共同プロジェクト「haydn total」に参加。ヴァイオリンを岡山 潔、ジェラルド・プーレ、松原勝也の各氏に、室内楽を服部芳子、山崎伸子の各氏に、音楽学を藤本一子氏に師事。東京藝術大学音楽学部・同附属音楽高等学校・お茶の水女子大学文教育学部講師を歴任する。

長谷川 彰子 はせがわ あきこ チェロ

岐阜県多治見市出身。愛知県立芸術大学を首席で卒業。桑原賞、併せて中村桃子賞受賞。第77回日本音楽コンクール第3位。2010年ローム ミュージックファンデーション奨学金を受けライブツィヒ音楽演劇大学へ留学し、修士課程を最高点で修了。2013年東京藝術大学修士課程を首席で修了。各主要都市でソリスト、オーケストラ奏者として幅広く活動。中島顕、天野武子、河野文昭、山崎伸子、ペーター・ヘルの各氏に師事。九州交響楽団チェロ首席奏者を経て、2019年に新日本フィルハーモニー交響楽団チェロ首席奏者に就任。

会場 中津川市 ひと・まちテラス

岐阜県中津川市新町2-34

- JR中津川駅 徒歩7分
- 北恵那バス「淀川バス停」徒歩3分
- 中央自動車道「中津川IC」車で約10分

※ 演奏中の出入りおよび
録画・録音はご遠慮ください。

令和8年3月28日（土）「ひと・まち ロビー・コンサート」 申込書

「公益財団法人 関記念財団」 E-mail : seki.event@gmail.com FAX : 0573-67-7272

郵送先： 〒508-0022 岐阜県中津川市北野町4-1 お名前・連絡先を明記のうえ葉書申込可

※ いただきました個人情報には本目的のみに用い、厳しく管理いたします。

お名前：

ご連絡先：

緊急の場合に用いさせていただきます。